



タニラダー講習会
販促プロモーション活用ご案内資料
Sales-promotion in TANI LADDER Training Session

タニラダー講習会 販促プロモーション活用ご案内資料

タニラダー講習会とは

- 4 構成要素
- 5 概要 -1
- 6 概要 -2
- 7 開催実績等

講習会参加者について

- 9 プロフィール
- 10 受講する子どもたち意識データ
- 11 保護者意識データ -1
- 12 保護者意識データ -2
- 13 保護者意識データ -3

プロモーション媒体としての特徴

- 15 参加者現地心理
- 16 接触環境
- 17 連携コンテンツ

プロモーション活用メニュー

- 19 メニュー 1
- 20 メニュー 2
- 21 メニュー 3
- 22 メニュー活用事例
- 23 ご利用にあたって
- 24 参考資料①
- 25 参考資料②
- 26 参考資料③



タニラダー講習会とは



タニラダー講習会



子供とコーチが真剣に向き合って取り組み、
保護者も積極的にサポートを行う、
走力・敏しょう性向上トレーニングプログラム

■「タニラダー」とは

元サッカー日本代表、現ヴァンフォーレ甲府・フィットネスダイレクターの谷真一郎氏が研究を重ねて考案した、走力・敏しょう性向上トレーニングアイテム「タニラダー」。

実際のピッチで役立つステップワークや姿勢・身体の使い方も身につく、マス間隔にこだわったオリジナルラダーで、近年急速に高い評価が広がり、幾つものJリーグクラブ（育成カテゴリーからトップチームまで）などでも積極的に活用されています。



87%が効果を実感

「タニラダー」を体験した子どもたちの

※サカイイク調べ

◎プロスポーツチーム導入・採用実績（アカデミー、トップチーム混在）

ヴァンフォーレ甲府	清水エスパルス	ツエーゲン金沢	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
横浜 F. マリノス	大宮アルディージャ	ザスパクサツ群馬	アルビレックス新潟レディース
川崎フロンターレ	ベガルタ仙台		
柏レイソル	コンサドーレ札幌	ロンドン五輪 男子 日本代表	読売ジャイアンツ
ガンバ大阪	松本山雅 FC	ロンドン五輪 男子 韓国代表	
FC 東京	ロアッソ熊本	ブラジル WC 韓国代表	

■「タニラダー講習会」

「タニラダー」でより多くの少年プレーヤーの成長をサポートすべく 2013 年に立ち上げられ、以降国内各地で開催されているのが、開発者・谷真一郎氏をはじめ専門スタッフが直接指導を行うトレーニングプログラム「タニラダー講習会」。

身長や体重、筋肉の性質、心肺機能などは、遺伝子に影響を受けることが判ってきていますが、神経系の能力は小さい頃からのトレーニングによってカバーが十分に可能。事実、神経系が最も発達し「習得のゴールデンエイジ」と呼ばれる 12 歳前後までに的確なトレーニングをしっかりと行ってアジリティを身につけた子供たちは、その後スピードの向上をはじめ選手としての力をさらに伸ばしています。



開発者：谷 真一郎 氏（ヴァンフォーレ甲府・フィットネスダイレクター）

愛知県立西春高校から筑波大学に進学し、蹴球部に在籍。在学中に日本代表へ招集される。同大学卒業後は柏レイソル（日立製作所本社サッカー部）へ入団し、1995 年までプレー。引退後は柏レイソルの下部組織で指導を行いながら、筑波大学大学院にてコーチ学を専攻する。その後、『日本で唯一の代表キャップを持つフィジカルコーチ』として、柏レイソル、ベガルタ仙台、横浜 FC に所属。そして 2010 年からはヴァンフォーレ甲府でフィジカルコーチを務め、2020 年には同クラブのフィットネスダイレクターに就任した。

【取得資格】

筑波大学大学院コーチ学修士 / 日本サッカー協会認定 A 級ライセンス / AFC フィットネスコーチ レベル 2 / 日本サッカー協会認定キッズリーダー

■2019 年度



東北エリア：青森県、宮城県

関東エリア：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、栃木県

東海エリア：愛知県

関西エリア：大阪府

中四国エリア：岡山県

九州エリア：福岡県

*上記各場所それぞれで1~3回実施（合計42回）

2019 年度は戦略的に場所を絞り込んで開催

■2020 年度



3月までは兵庫県など新たな開催地を加えながら順調に開催も、
その後は新型コロナウイルスの影響を受けてオンライン講習会に切り替え

オンライン講習会も高い人気を得て、NHK 総合「おはよう日本」6時台の
スポーツコーナーに登場（2020.5.7 放送）

*8月以降、新型コロナウイルス対策を入念に行いながらリアルイベントとして再開

オンライン開催でも高評価獲得

講習会参加者について





サッカーに熱心な、
子どもとその保護者
年間のべ 約 2,000 組

※2018年実績

通常開催のタニラダー講習会は有料 (参加費 5,000 円) の個人参加プログラム

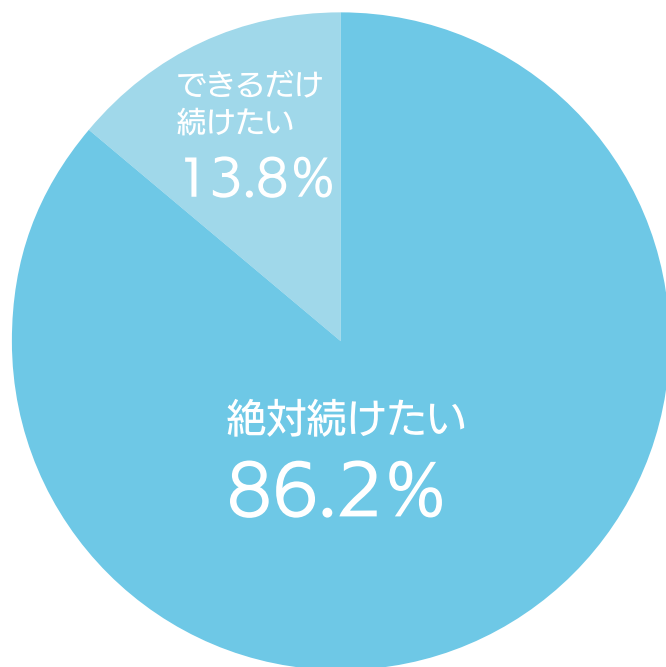
参加はサッカーに対する熱心さの表れ

■子どもの年代割合



小学校低学年対象「ビギナークラス」と小学校高学年対象「ベーシッククラス」の開催比率=上記割合

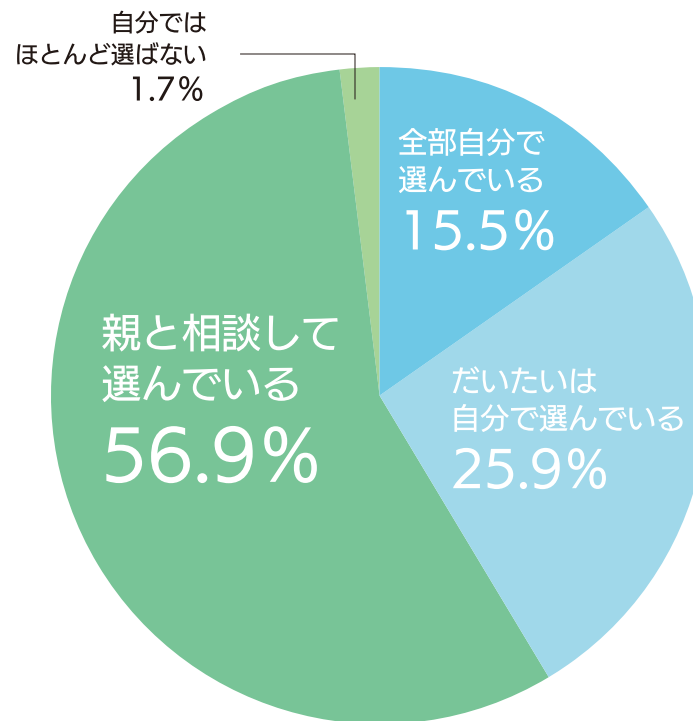
■サッカーの継続意欲



非常に強く大きいサッカーへの想い

参加してくる子どものほとんどはサッカーに対する大きな情熱を持っており、向上意欲に満ちている。

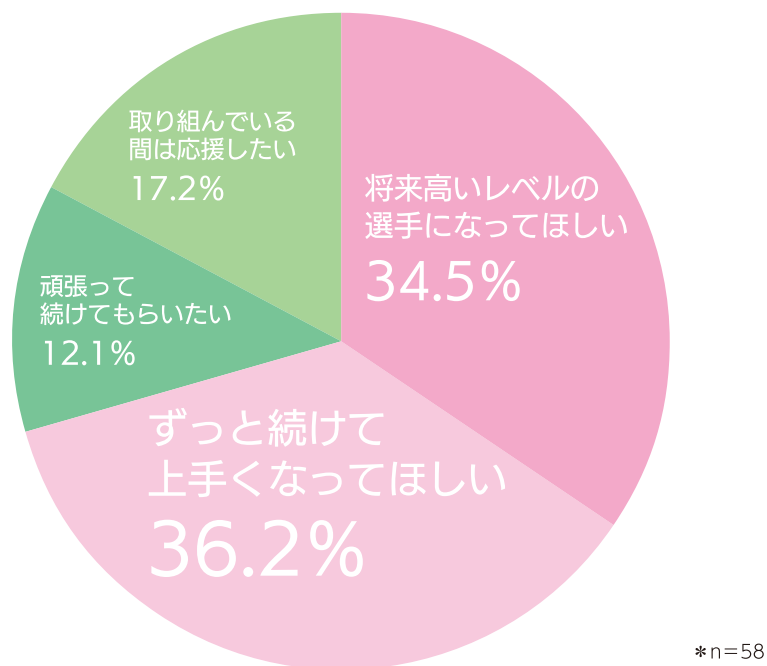
■サッカー道具などについて



まだ親の意見の影響力は大きい

小学生ではまだ親の意見の影響力が大きく、親を外した道具の決定・購入はあまりされていない。

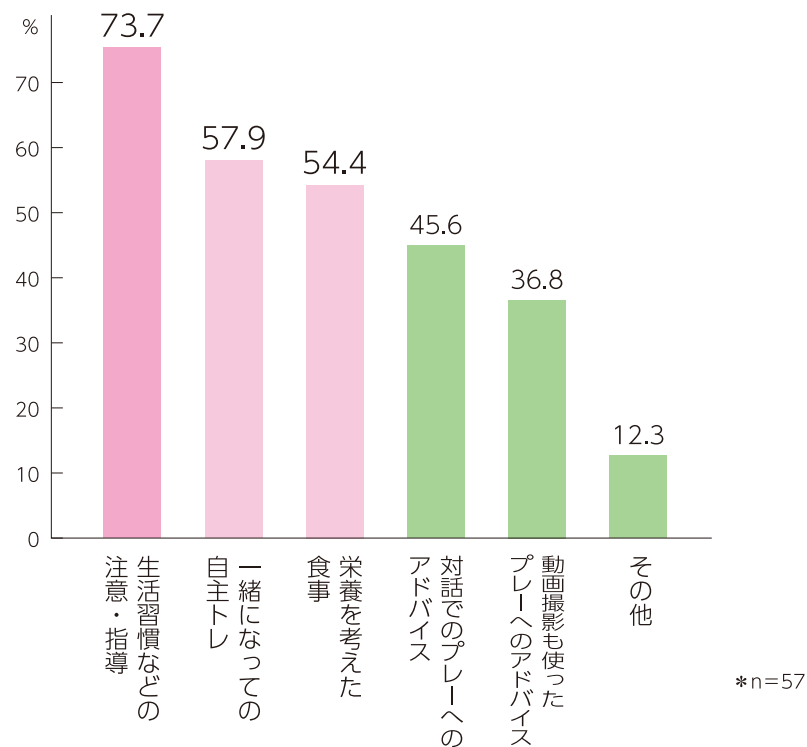
■子どものサッカーに対する想い



保護者の熱量も相当に大きい

我が子の上達・ステップアップを多くが希望しており、保護者も相当大きな熱量を持っていることがわかる。

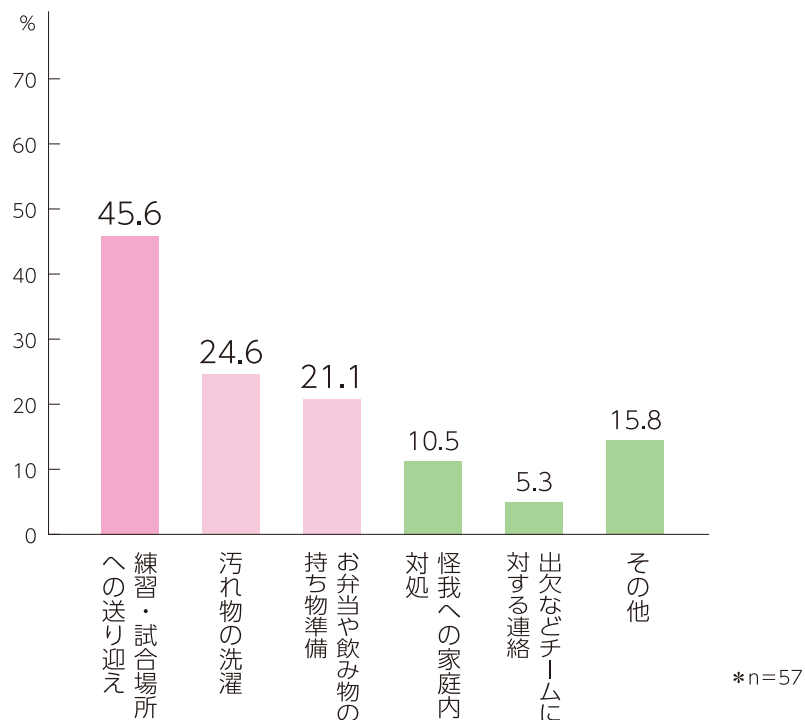
■子どもに対する普段のサポート *複数回答



非常に強いサポート意識

会話だけでなく、自分自身も行動してのサポートを行っていることから、親のサポート意識の強さが大いに感じられる。

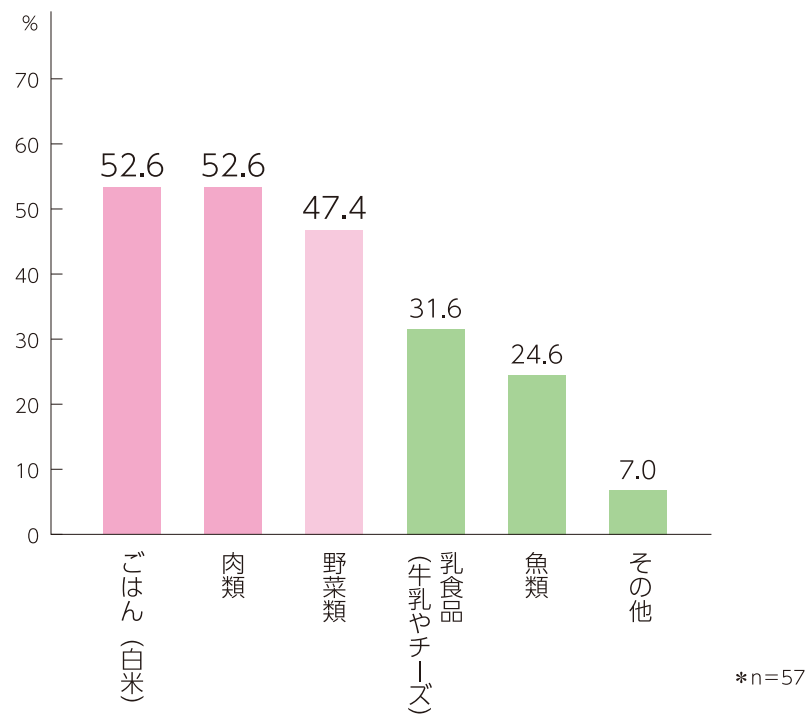
■子どものサッカーに関わることでの負担 *複数回答



自身の移動が伴うことが最も負担

練習・試合会場への送迎はかなりの負担のようだが、自宅で行えることについてはそれほど負担に感じていない傾向。

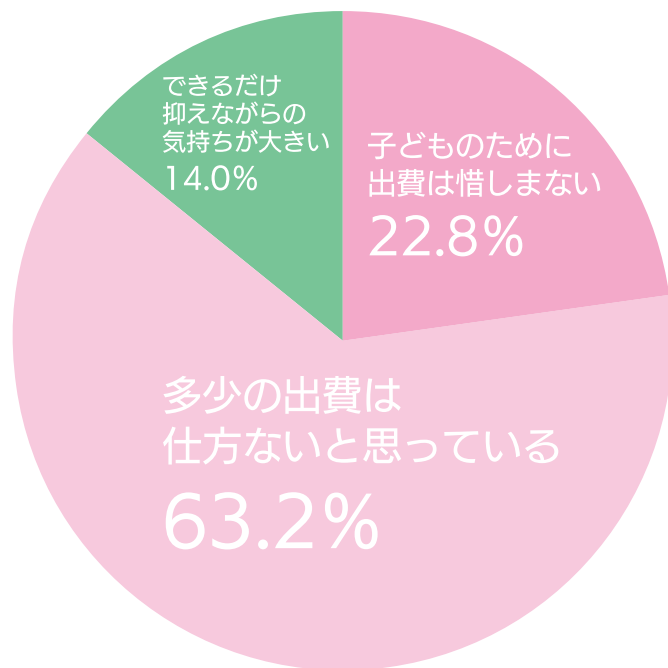
■子どもに摂取させたい食品 *上位2つ選択



意外にも「Ca」系食品が低い割合

骨折という大きなケガが隣り合わせのスポーツにもかかわらず、カルシウム摂取につながる食品への意識は高くない。

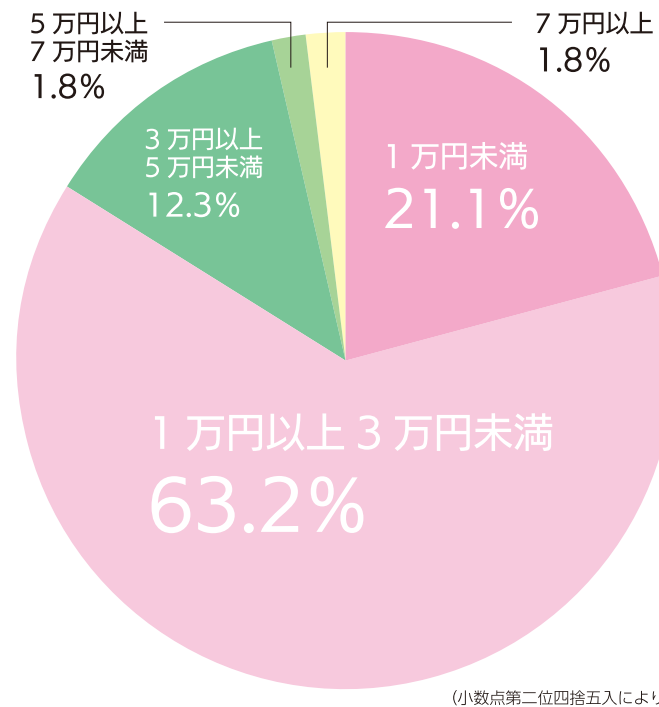
■子どものサッカー関連（道具購入やスクール参加）への投資に対する意識



子供のためなら、の意識は強い

我が子が打ち込んでいるサッカーについては、経済面の負担もある程度受け入れる覚悟を多くの保護者が持っている。

■子どものサッカー関連における実際の出費額 [1ヵ月平均]





決して小さくない月あたりの出費

小学生年代から考えると、所属チームでの活動費以外の出費をそれなりにしていると推測される。

プロモーション媒体としての特徴



	子ども	保護者
基本的想い	 <p>サッカーが上手になりたい</p>	 <p>サッカーを通して我が子に成長してもらいたい</p>
欲 求	<p>プレーがより良くなるものへの欲求</p>	<p>子どもの成長をサポートしてくれるものへの欲求</p>
現地状況	<p>真剣姿勢で懸命の取り組み</p>	<p>目の前で頑張る我が子に気持ちがいっそう高揚</p>

欲求に応えてくれそうなものに興味が強まりやすい参加者の心理状態

参加定員数は1開催 30~40名

商品のPRや認知がしっかりと
いきわたる規模

実技がメインの講習内容

実際に着用させての受講など
商品体感企画が作りやすい

講習会中は親もフィールドに注目

購買において外せない存在の
親にも強くアピールできる

親子両方に「強い印象付け」ができる接触環境






<https://www.sakaiku.jp>



<https://www.e-3shop.com>

月間 UU 約 50 万人、各 SNS も多くのフォロワーを持つ、少年サッカー保護者向け No.1 サイト「サカイク」と、購買意欲の高い会員を多数抱えるサッカー育成 No.1 メディアのセレクトショップ「E-3 ショップ」。それらと連携を図ることにより、ネットメディアでの強力かつ的確な広域情報発信も可能。

「サカイク」各 SNS フォロワー数：  約 60,000  約 13,000  約 5,400

商品アピールを同属層へ効果的に拡散できる連携コンテンツもあり

プロモーション活用メニュー



“通常版”「タニラダー講習会」へのスポットタイアップ

タニラダー開発者である谷氏を中心とした運営スタッフが会場手配から参加者募集までを行なって開催している“通常版”「タニラダー講習会」へのスポットタイアップ。

開催予定の中から希望日程の講習会を選び、当日現地で商品の販促プロモーションを展開。

参考：“通常版”「タニラダー講習会」参加募集 web（「サカイ」内）

タニラダー講習会

【東京開催】タニラダー講習会【もう動きがニビイとは言わせない！】
公開：2021年12月14日

▼ツイート ▲SHARE

試合中、1対1になると簡単に抜かれてしまう。相手選手に付いていけない...といったお悩みを修正していくタニラダー講習会。

1月吉祥寺会場が早々に定員に達したことを受け、吉祥寺会場での日程を追加しました。



タニラダー講習会日程

- ピギナークラス（小学校1～3年生）
2022年1月23日（日）16:15～17:45
[フットサルパーク吉祥寺](#)
担当：谷真一郎コーチ
定員：24名
- 2022年3月13日（日）16:15～17:45
[フットサルパーク吉祥寺](#)
担当：谷真一郎コーチ
定員：24名
- ベーシッククラス（小学校4～6年生）
2022年2月13日（日）16:15～18:00
[フットサルパーク吉祥寺](#)
担当：谷真一郎コーチ
定員：24名

●共通事項
■参加費
基本料金：5,000円（税込）

・タイアップの仕方（プロモーション内容）はご要望に応じて組み立て

*“通常版”講習会は、参加費を払っている参加者のトレーニングが最優先のため、販促プロモーションの内容は範囲を限ったものになります。

[実施内容一例]

サンプリングやアンケート調査／ブース設置での商品 PR や即売会／講習会前後のコート内での商品着用体験等（会場施設の規定も踏まえてご相談）

・会場手配や参加者募集が不要、余分な手間や費用をかけずに実施可能

*参加者数は応募次第のため、定員に満たない数での実施になる可能性もありますことをあらかじめご了承ください。

タイアップ費用（1回タイアップ目安）：250,000円～

*タイアップの仕方によって費用は変わってまいりますので、詳しくは直接ご相談ください。*記載金額は税別です。

独自企画の「タニラダー講習会」開催

クライアント様の独自企画として「タニラダー講習会」を開催。

販促プロモーションをしっかりと組み込んだオリジナルの仕立てにした上で、子供たちに有益なトレーニングを提供。

独自企画のため、会場手配や参加者募集はクライアント様側で行っていただく。(サポート可能)

- **商品を体感させる(ウェアやシューズの着用) 特別パートをトレーニングメニューに加えるなどオリジナルな仕立てが可能**

*簡単な内容であれば、商品特徴をインストラクターに話させることも可能です。

- **販売戦略、流通対策などに合わせて日程、場所、会場、参加人数を自由設定**

*日程や場所はインストラクターの予定により、ご相談する場合があります。

*コート外プロモーション展開の可否はご手配の会場に直接ご確認ください。

*講習会1回の基本は、「インストラクター2名」、全員への指導行き渡りの観点から「参加人数上限40名」。その上限を超える人数での開催をご希望の場合はインストラクターの追加が必要です。

参考：大手食品メーカー様 独自企画開催風景 (2021.6)



独自開催費用(講習会1回目安)：500,000円～

*仕立て内容によって費用は変わってまいりますので、詳しくは直接ご相談ください。*記載金額は税別です。

「タニラダー講習会」年間スポンサー

各地での“通常版”講習会開催だけでなく、子供たちがより高い成果を挙げるための集中キャンプや、インストラクター養成なども積極的に展開している「タニラダー講習会」を、年間通してサポート。

■年間スポンサー特典

① 年間 5 回、クライアント様冠での独自企画講習会を開催

*開催場所の基本設定は都内。ただし、必要経費（インストラクター交通費等）別途で全国の希望地での開催も可能です。

② 「①」の会場施設での PR・プロモーション活動

*講習会参加者を対象に、サンプリングやブース設置（必要物はクライアント様準備）での商品 PR などを会場施設の規定範囲内で実施。

③ レギュラーインストラクター陣やサカイクの SNS での商品露出

*露出回数や見せ方は一任していただきます。なお、露出は基本的に「タニラダー講習会」に関する情報アップの時のみ。

*レギュラーインストラクター陣（10名程度）にはロゴ入りウェアやシューズの無償ご提供をお願いいたします。

④ 公認インストラクター制度申込者に対するクライアント様商品の推奨販売

*タニラダーロゴ入り（発注後プリント）のクライアント様ウェア購入を、公認インストラクター制度申込者に対して推奨。

*販売価格については多少の優待をご相談させていただきたくお願いいたします。

年間スポンサー費用：2,000,000 円

*記載金額は税別です。

独自企画の「タニラダー講習会」開催

大手食品メーカー様 独自企画 (2021.6)

開催目的：流通対策、自社商品の直接的 PR

開催場所：富山県射水市



6/22 読売新聞 (地域面) 掲載



ご利用にあたって

[お申し込みについて]

- 本媒体をご活用いただくにあたって、最優先されるのは「タニラダー講習会」の理念・開催趣意と、子どもたちの成長をサポートする現地のトレーニングプログラムです。その点を予めご了承くださいませよう願いたします。
- 利用の仕方や内容によっては各メニューのお申し込みをお受けできない場合があります。
- お申し込み後のキャンセル、メニュー変更はお受けできません。
- 「メニュー 1」は“通常版”講習会 1 開催あたりタイアップ枠 1 つとさせていただきます。なお、利用お申し込みは 1 開催単位から可能です。
- 「メニュー 1」のお申し込み締め切りは開催日の 1ヶ月前、「メニュー 2」のお申し込み締め切りは開催ご希望日の 3ヶ月前とさせていただきます。
- 「メニュー 1」をお申し込みいただいた開催回が止むを得ない理由により中止となった時には、代替日をご相談させていただきます。なお、悪天候下における実施か否かの判断に関しては「タニラダー講習会」側で行わせていただくこととなりますのでご了承ください。
- 「メニュー 2」については、インストラクターのスケジュールにより開催日をご希望に沿えない場合も稀にございます。その場合は別日のご提案をさせていただきます。
- 「メニュー 2」は販促プロモーションとトレーニングプログラムの円滑な組み合わせを図る必要がありますので、お申し込み前にご要望等をご相談ください。
- 「メニュー 3」の枠数に上限はありませんが、1 商品カテゴリー 1 企業（ブランド）様とさせていただきます。
- いずれのメニューも、お申し込みは先着順となります。
- “通常版”「タニラダー講習会」の開催日スケジュールは別途お問い合わせください。

[現地でのプロモーションについて]

- 現地にブースを設営して商品 PR を行う場合、使用の用具（テント・テーブル等）は全てクライアント様でのご準備となります。こちらでの手配も可能ですが、費用別途となりますことをご了承ください。
- ブースでの商品 PR はトレーニングプログラム開催の前後時間帯で行っていただくこととなります。トレーニングプログラム実施時間中の参加者（子どもたち及びその保護者も）への声かけなどはくれぐれもお控えください。
- ブースでのプロモーション活動はクライアント様に行っていただく必要がありますので、必ずスタッフをご手配ください。
- サンプリングやアンケートなど簡単なプロモーションメニューに関しては、インストラクターや媒体社スタッフがお手伝い可能です。
- ブース設営をされた場合、商品や貴重品は全てクライアント様の責任において管理ください。紛失や盗難、破損等があっても媒体社及びタニラダー講習会運営側は一切の責任を負いかねます。
- プロモーション活動で発生したゴミはクライアント様各自でお持ち帰りくださいますようお願いいたします。
- 「メニュー 2」で、参加者に商品着用をさせる特別パートを入れる場合、全員の使用分は無償ご提供にてお願いいたします。なお、使用後の商品は回収の上お持ち帰りください。

※上記は主要事項の抜粋です。より細かな部分に関しては必要に応じてお問い合わせください。

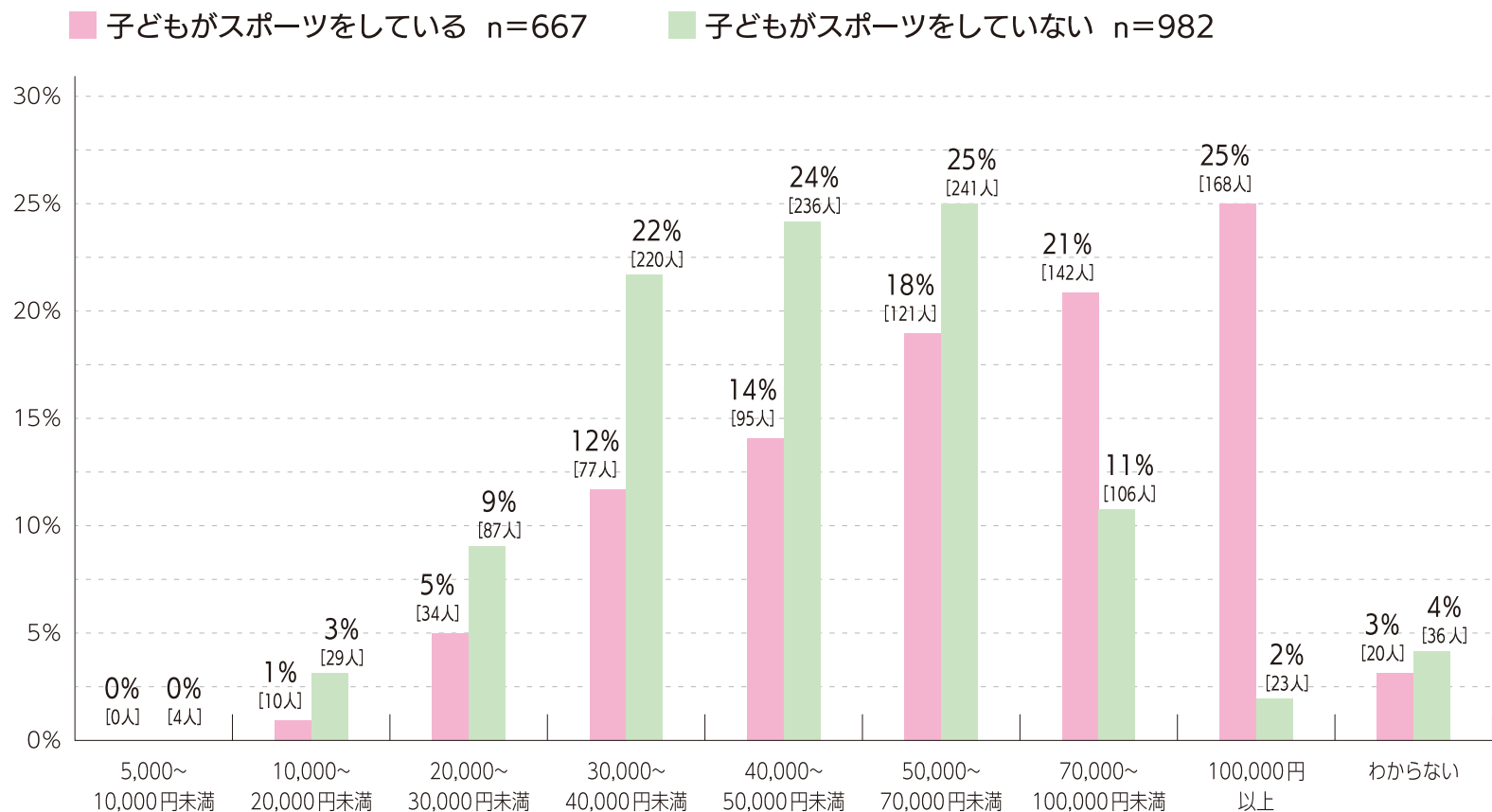
参考資料：スポーツをする小学生を持つ家庭の現状 ①

※全データ サカイク調べ

調査対象：サカイク読者、らくらく利用者のうち小学生年代の子どもを持つ母親 調査期間：2019年9月25日～10月8日 調査方法：インターネット調査

調査地域：全国 有効回答数：1,649（子どもがスポーツをしている母親 667・子どもがスポーツをしていない 982） *%は小数点以下四捨五入

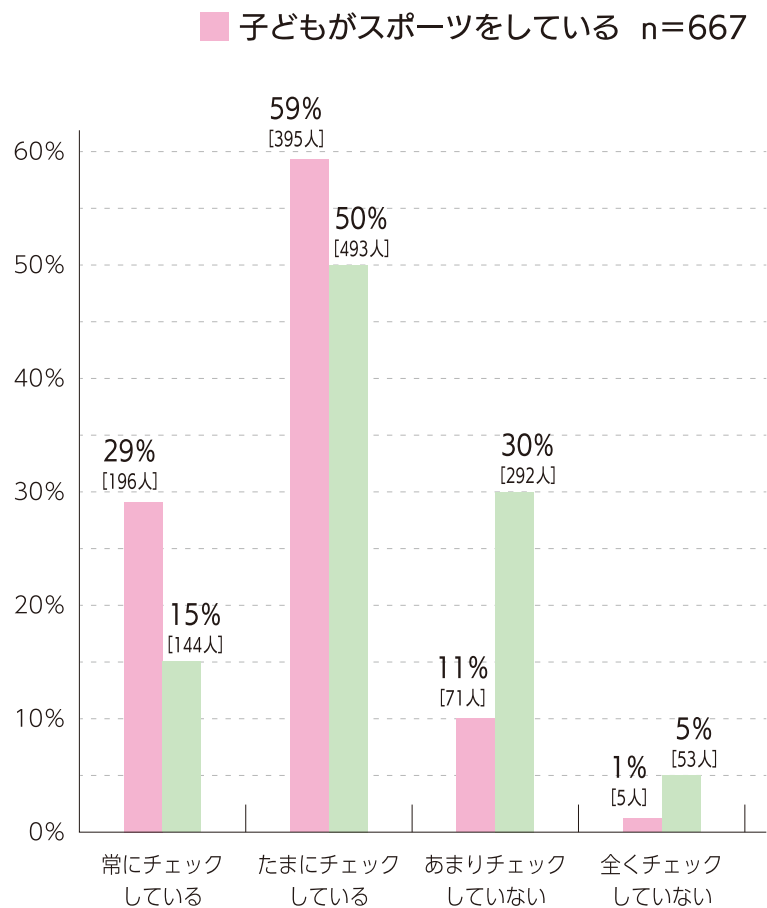
Q 家庭の1ヶ月にかかる食費は？



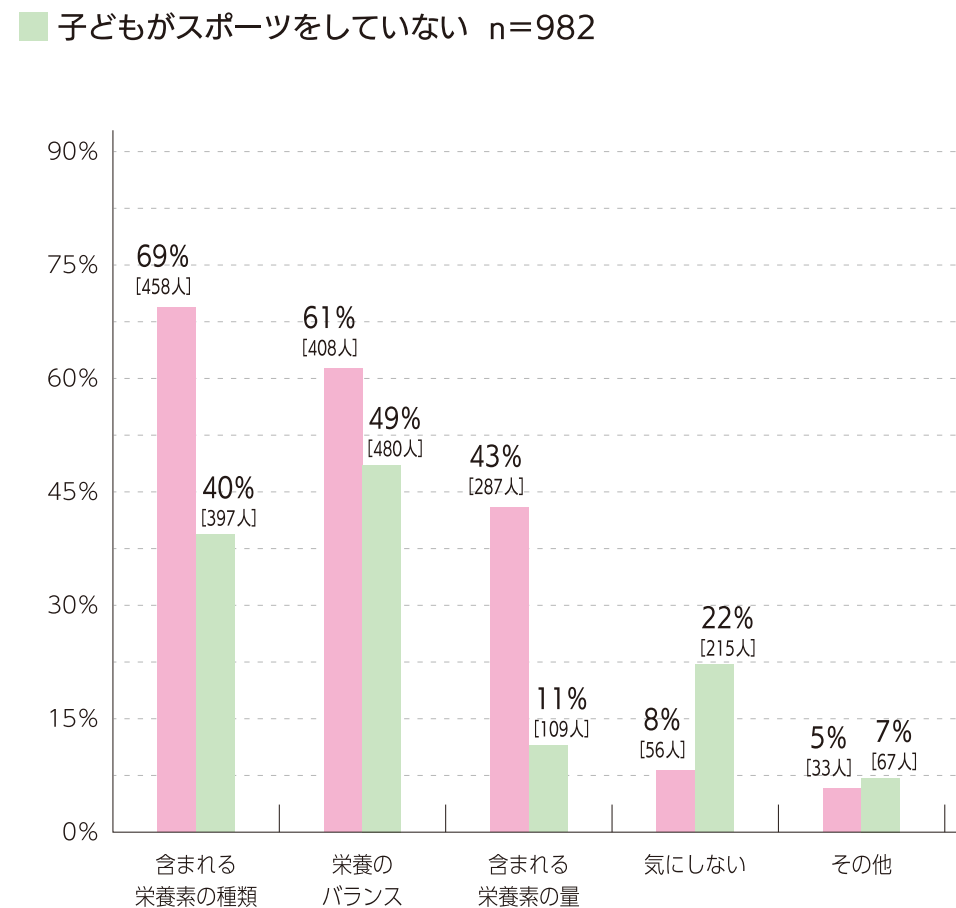
子どもがスポーツをしている家庭の食費は非常に高い。

参考資料：スポーツをする小学生を持つ家庭の現状 ②

Q 子どもの食品を購入する際、
どのような栄養素が含まれるかチェックする？



Q 子どもの食品を購入する際、
含まれる栄養素について気にしていることは？（複数回答）



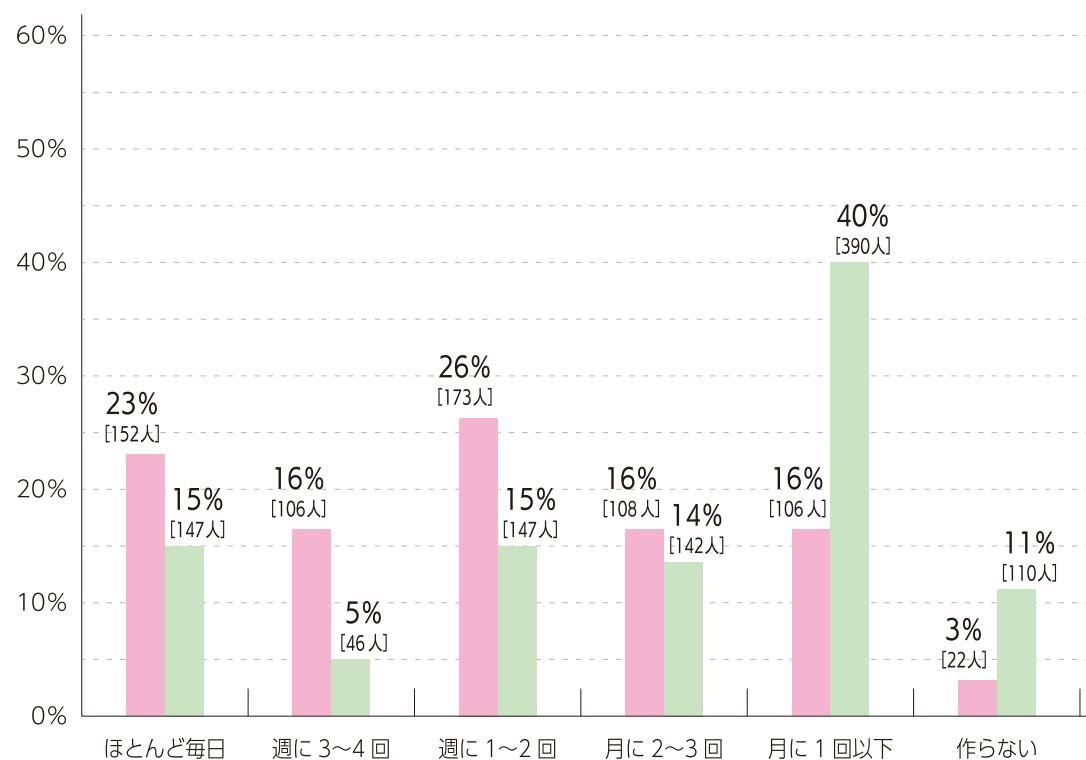
子どもがスポーツをしている母親の栄養素に対する意識は強い。

参考資料：スポーツをする小学生を持つ家庭の現状 ③

Q 子どものお弁当を作る頻度は？

■ 子どもがスポーツをしている n=667

■ 子どもがスポーツをしていない n=982



子どもがスポーツをしている母親はお弁当を作る機会が多い。



本媒体に関するお問い合わせ先

株式会社イースリー

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11 HIVE TOKYO 703

TEL: 03-5210-1221 E-Mail: info@e-3.jp

有限会社アクア

〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋 2-4-17 千代田第一ビル 9F

TEL: 06-6356-2288 E-Mail: info@acqua-sp.co.jp